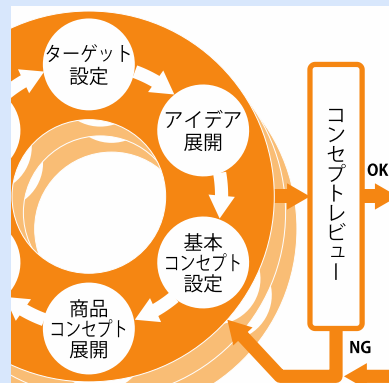


デザイン思考による 商品企画支援ツールの開発

技術シーズ創生研究事業（プロジェクトステージ）

産業デザイン部 長嶋宏之、内藤廉二、小林正信

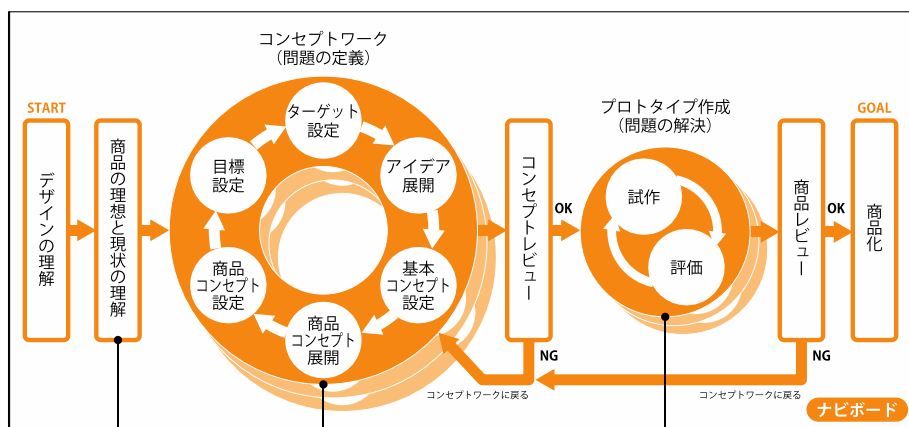


ねらい

ユーザー・エクスペリエンス、モノからコト、デザインドリブン、Z世代、パルス消費など、多くのキーワードの誕生が示すように、今は多角化、複雑化する商品価値への対応が求められています。

そこで IIRI DESIGN LAB（デザインラボ）では、岩手県内の製造業の皆様を支援するため、デザイン視点のアプローチで進められる商品企画支援ツールの開発を行っています。

商品企画支援ツール プロトタイプ

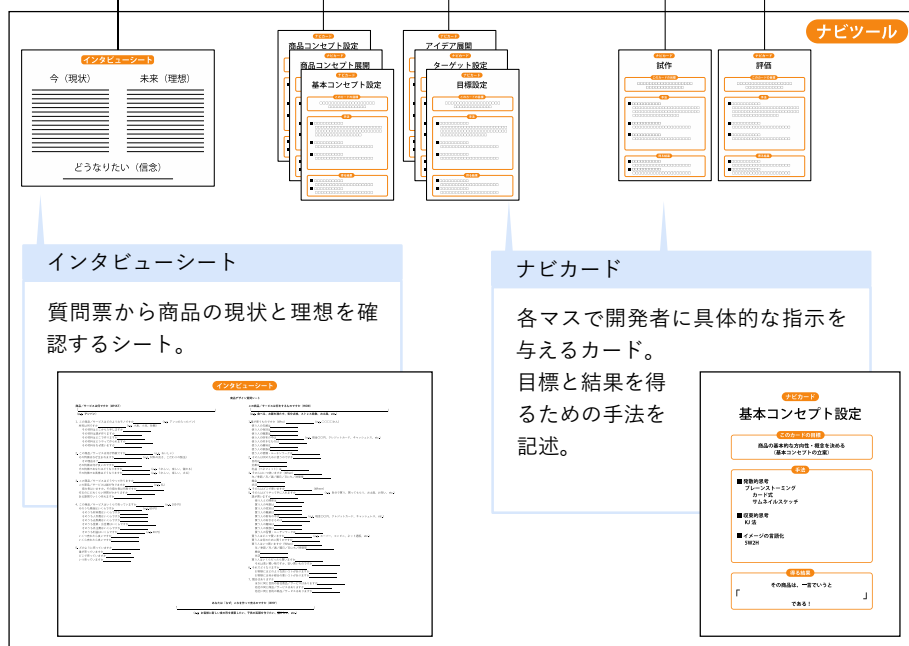


ツールの構成

ツールは、進行表の「ナビボード」と、ボード内のマス目に対応する「ナビツール」に分かれます。

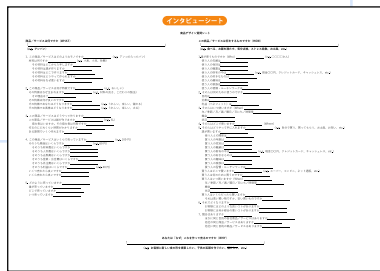
「ナビボード」は「理想と現状の理解」、「コンセプトワーク」、「プロトタイプ作成」の3段階の構成とし、各マス目に対応した「ナビツール」の指示に従い、商品開発を進めていきます。

特に「コンセプトワーク」、「プロトタイプ作成」では商品価値のスパイラルアップを目指すため、何度も繰り返し実行するように設計しました。



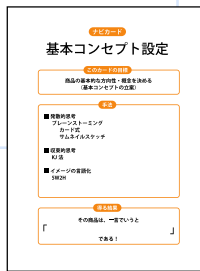
インタビューシート

質問票から商品の現状と理想を確認するシート。



ナビカード

各マスで開発者に具体的な指示を与えるカード。目標と結果を得るための手法を記述。



今後の予定・課題

今後はツールの効果を検証・改良し、本県の製造現場でご活用いただける商品企画支援ツールを目指して開発していきます。

